
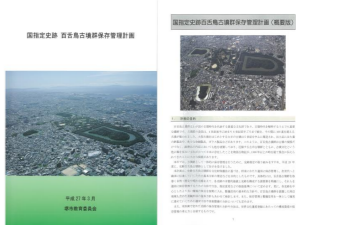





歴まち計画への記載事項		進捗評価		進捗状況																	
項目	■計画どおり進捗	■計画どおり進捗していない																			
① 組織体制																					
1 歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取り組み	■	□	<p>平成28年8月に幹事会を開催し、平成28年度の取組み状況を確認したほか、平成29年度の予算要求も踏まえた事業予定について情報共有・意見交換を行った。また、平成29年2月から3月にかけて幹事会、推進会議及び協議会を開催し、平成28年度の進捗状況の確認等を行った。</p> <p>○平成28年8月16日 推進会議幹事会開催 ○平成29年2月16日 推進会議幹事会開催 平成29年2月28日 推進会議開催 平成29年3月28日 協議会開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>○平成29年2月16日 堺市歴史的風致維持向上計画推進会議幹事</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○平成29年2月28日 堺市歴史的風致維持向上計画推進会議</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○平成29年3月28日 堺市歴史的風致維持向上協議会</p> </div> </div>																		
② 重点区域における良好な景観を形成する施策																					
1 都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携	■	□	<p>●百舌鳥古墳群及び周辺区域において、世界文化遺産登録も視野に古墳のあるまちとして相応しい景観づくりの一環として、高度地区による「建築物の高さ制限」、景観地区による「建築物の色彩などの形態意匠の制限」、屋外広告物条例による「屋外広告物の大きさや高さ等の制限」を実施した。</p> <p>●同区域において、既存不適格広告物の適正化に向けた補助金制度を創設し、早期適正化に向けた取り組みを実施した。</p> <p>○景観地区認定申請件数 48件(平成29年2月末現在) ○屋外広告物適正化補助金制度の活用件数 2件(平成29年3月末現在)</p> <p>○屋外広告物の新たな制限に関する周知・啓発(平成29年3月末現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の制限に関する周知啓発(回数)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・主要幹線道路沿道へのチラシ配布等による周知啓発</td> <td>829</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・主要幹線道路関係者への戸別説明ほか</td> <td>156</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>・郵送等による案内(広告主、関係事業者、業界ほか)</td> <td>1,211</td> <td>376</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計約2,700回</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の制限に関する案内チラシ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の制限に関する案内チラシ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>早期適正化に向けた補助制度に関する案内チラシ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>早期適正化に向けた補助制度に関する案内チラシ</p> </div> </div>	百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の制限に関する周知啓発(回数)				H27年度	H28年度	・主要幹線道路沿道へのチラシ配布等による周知啓発	829	—	・主要幹線道路関係者への戸別説明ほか	156	166	・郵送等による案内(広告主、関係事業者、業界ほか)	1,211	376	計約2,700回		
百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の制限に関する周知啓発(回数)																					
	H27年度	H28年度																			
・主要幹線道路沿道へのチラシ配布等による周知啓発	829	—																			
・主要幹線道路関係者への戸別説明ほか	156	166																			
・郵送等による案内(広告主、関係事業者、業界ほか)	1,211	376																			
計約2,700回																					

歴まち計画への記載事項 事業名	H28	進捗評価		進捗状況	P2
	計画	■計画どおり進捗	■計画どおり進捗していない		





(1) 歴史的風致を形成している建造物の整備と管理(保存・修理事業など)






基本方針①: 古墳時代をはじめ、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用

<p>モス① 百舌鳥古墳群整備事業</p>	<p>○寺山南山古墳の調査 ○御廟表塚古墳の公有地化</p>	<p>■</p>	<p>□</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度は、寺山南山古墳の形状確認のため発掘調査を実施し、現地説明会には500人の来場があった。 ●御廟表塚古墳の公有地化を行い、恒久的な保護とさらなる利活用を図った。 ●『史跡百舌鳥古墳群整備基本計画』の平成29年度策定に向け、百舌鳥古墳群保存整備委員会にて審議した。 	  <p>寺山南山古墳現地説明会の様子</p> <p>国史跡百舌鳥古墳群保存管理計画</p>
<p>モス② 重要文化財高林家住宅保存修理事業</p>		<p>—</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業着手に向け所有者、国との協議を進め、平成29年度、30年度の2か年で主屋等の修理を実施予定。主屋は茅葺屋根の茅が腐朽し陥没、また不動堂は建物全体が傾く等、共に破損が著しく加速度的に老朽化が進んでいるため、早急な保存修理工事が必要な状況である。 平成29年度 設計業務・保存修理工事 平成30年度 保存修理工事 	  <p>主屋全景</p> <p>屋根背面の破損状況</p>
<p>環① 歴史的建造物保存修理事業</p>	<p>○歴史資料調査及び整備算定調査</p>	<p>■</p>	<p>□</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●山口家住宅や清学院とともに、堺環濠都市を代表する歴史的建造物である「鉄砲鍛冶屋敷」の保存に向けた整備方針等について所有者と継続的に協議。平成28年度は所蔵する鉄砲関係等の歴史資料の調査の実施と共に整備費算定のための調査も実施した。 	 <p>鉄砲鍛冶屋敷 歴史資料調査の様子</p>

(2) 歴史と伝統を反映した人々の活動の支援

基本方針②: 「もののはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興


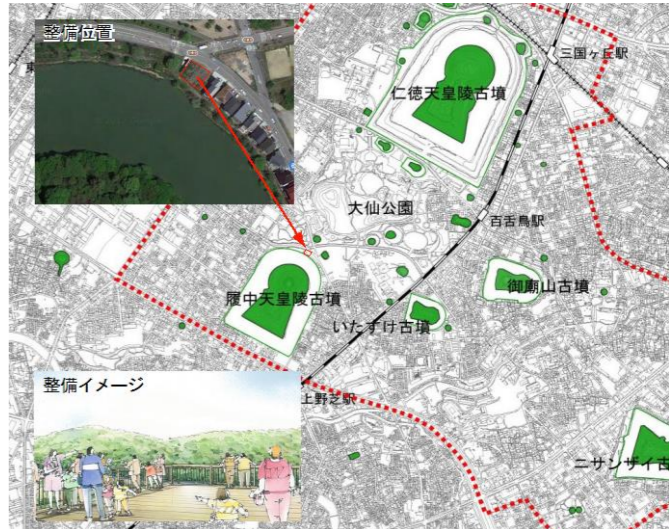

<p>モス③ 市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み</p>	<p>○シンポジウム、講演会等の開催 ○古墳周辺の美化清掃についての広報活動等 ○堺市民の会、府民会議の設立(H27)</p>	<p>■</p>	<p>□</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●第5回百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進シンポジウム(平成28年4月20日 主催:推進本部会議 参加人数450人)、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進東京シンポジウム(平成29年2月3日 主催:推進本部会議 参加人数300人) ●「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会」との連携事業 平成28年6月25日 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の集い(堺市民の会と連携 於:堺商工会議所) 入会者数(平成29年2月末現在):11,695件(個人、団体) ●ウォーキングイベントの開催(南海電気鉄道株式会社と合同で開催 参加人数164人) 平成28年7月26日 百舌鳥古墳群夏休み子どもウォーク 平成28年8月25日 百舌鳥古墳群夏休み子どもウォーク 平成28年12月6日 百舌鳥古墳群ウォーク ●仁徳天皇陵古墳周辺の清掃活動(主催:仁徳陵まもり隊)について、プレスリリースや堺市ホームページへ情報を掲載 平成28年11月6日 	    <p>堺市民の集い</p> <p>百舌鳥古墳群夏休み子どもウォーク</p> <p>百舌鳥古墳群ウォーク</p> <p>市民による清掃活動の様子</p>
----------------------------------	---	----------	----------	---	---

歴まち計画への記載事項	H28	進捗評価		進捗状況	
事業名	計画	■計画どおり進捗	■計画どおり進捗していない	P3	
全-① 堺市地域文化遺産活用活性化事業	○報告書作成	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>●地域の文化遺産普及啓発事業 堺の手織緞通や堺線香、手描き鯉幟など、堺の伝統的な工芸技術をはじめとした文化遺産を市民に広く普及し、理解を深めるため、町家歴史館など文化財公開施設を主な会場としたワークショップ事業を7回実施。今まで注目されてこなかった地域の文化遺産に対する市民の認知度が上昇し市民が地域の文化遺産を再発見し自らの地域を活性化していこうという意識醸成に向け取り組みを行った。</p> <p>●地域の文化遺産継承事業 上神谷のこおどり保存伝承事業他6事業を実施することにより、地域の伝統文化が一層活性化し、伝統文化・行事の伝承を進めた。</p> <p>●地域の文化遺産記録作成・調査研究事業 「神輿渡御祭」の歴史的経緯や、歴史資料、絵画資料などにあらわれた渡御祭の様子について、調査をおこなった成果を報告書として祭礼の伝承者をはじめとした市民に広く公開することにより、伝統行事に対する認識をより一層深めることができ、次世代への継承につなげた。 「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」構成団体(平成28年度) 堺こおどり保存会・船待神社神楽子供獅子踊り保存会・美多彌神社流鏝馬保存会・堺式手織緞通技術保存協会・多治速比売神社神振行事保存会・開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会 八田壮地域伝統文化保存継承実行委員会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1023 724 1430 1033">  <p>地域の文化遺産普及啓発事業 注染ワークショップ</p> </div> <div data-bbox="1466 724 1920 1033">  <p>地域の文化遺産継承事業 堺こおどり保存会</p> </div> <div data-bbox="1955 724 2445 1033">  <p>地域の文化遺産継承事業 多治速比売神社神振行事保存会</p> </div> <div data-bbox="2490 709 2783 1066">  <p>地域の文化遺産継承事業 美多彌神社流鏝馬保存会</p> </div> </div>	
全-② ボランティアガイドの育成・支援	○継続的な育成・支援の実施	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>【平成28年度研修実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●堺観光ボランティア入門講座(1~2回/年) <ul style="list-style-type: none"> ・入会前: 15~18回/3ヶ月(参加人数 32人) ・入会后: 6回程度/2ヶ月(参加人数 22人) ●フォローアップ研修(3ヶ月・6ヶ月/回) <ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月(参加人数 8人) ・6ヶ月(参加人数 8人) ・1年毎(3年経過まで)(参加人数 15人) ●全体研修・特別研修(3~4回/年)(参加人数133人 1月も実施) ●WTS(Welcome to Sakai)(各語とも1回/月) <ul style="list-style-type: none"> ・英語(不明) ・中国語(参加人数51人) ・韓国語(参加人数76人) ●公開講演会(1回/年)1月実施 ●新人まち歩きガイド研修(4回/期)(参加人数 合計117人) ●博物館研修(1回/年)(参加人数37人) ●通常研修(6回/年)(参加人数 合計168人) ●定点ガイド研修(1回/年・箇所)(参加人数 合計 207人) ●世界文化遺産研修(1回/年)(参加人数 74人) <div style="text-align: center;">  <p>研修の様子</p> </div>	

歴まち計画への記載事項		H28		進捗評価		進捗状況	P4
事業名	計画	■計画どおり進捗	■計画どおり進捗していない				
全-③ 堺市地場産業振興事業補助事業	○補助金交付	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度 刃物、線香など市内地場産業8団体に対し、本補助金を交付し、事業活動を支援した。 ●平成28年度 刃物、線香など市内地場産業7団体に対し、本補助金を交付決定した。 	  	<p>販路開拓イベント</p> <p>地場製品の展示</p> <p>研修会の開催</p>	
全-④ 堺市伝統産業後継者育成事業補助事業	○補助金交付	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度 市内伝統産業事業者に対し、本補助金を15件(23名)交付し、後継者育成を支援した。 ●平成28年度 市内伝統産業事業者に対し、本補助金を18件(28名)交付決定した。 	 	<p>刃物技法の指導育成</p> <p>染色技法の指導育成</p>	
全-⑤ 堺市ものづくりマイスター制度	○マイスターの派遣等	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度 派遣等件数 115件 参加人数 3,343人 ●平成28年度 派遣等件数 118件 参加人数 3,096人 (平成29年2月末現在) 	  	<p>小学校での刃物講座</p> <p>手描き鯉幟体験講座</p> <p>手すき昆布体験講座</p>	

(3) 歴史的風致を形成する建造物の周辺環境の向上(道路整備・修景など)

基本方針③: 古墳や歴史的まちなみを活かした魅力ある景観の創出

モス-④ 視点場の整備に関する調査検討	○履中天皇陵古墳の視点場整備等(他の古墳について検討)	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●履中天皇陵古墳北側において、視点場用地を取得済み ●平成27年度末 設計完了 ●平成28年度末 工事完了予定 	 <p>視点場整備実施状況(H29年3月 現在)</p>	
モス-⑤ 百舌鳥古墳群水質改善事業	○水質浄化手法の検討	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●「百舌鳥古墳群水質改善基本計画策定補助業務(平成24年度)」によって、仁徳天皇陵古墳、反正天皇陵古墳、履中天皇陵古墳、いたすけ古墳、御廟山古墳、ニサンザイ古墳の検討については実施済。 ●その検討結果を踏まえ、仁徳天皇陵古墳における水質改善の目標数値(第3濠正面でのクロロフィルaが100μg/l以下)を設定し、実現に向けたシミュレーション(工業用水:400t/日、井戸水:400t/日)を実施済 ●その結果を受け、工業用水の導水に向けて、各関係機関と協議中 ●これにより、水質改善の目標設定、並びに、そのための手法検討が一定完了 ●今後は、仁徳天皇陵古墳における水質改善の実施に向け、引き続き宮内庁をはじめとした関係機関との調整を行う。 	 <p>仁徳天皇陵古墳外濠の状況</p>	

事業名

計画

■計画どおり進捗
■計画どおり進捗していない

環-② まちなみ再生事業

- 町家等の修景支援
- 協議会活動の支援
- 周辺の景観整備等

●協議会と連携のもと地域住民に対して歴史的なまちなみの再生に向けた意識啓発の取組み及び修景補助制度について周知を行うとともに、町家の修景工事に対する補助を行った。(平成28年度補助金交付件数:4件)

■堺環濠都市北部地区における歴史的なまちなみ再生に向けた取組み
○平成28年度の取組み

	歴史的なまちなみ再生に向けた取組み(公民協働の取組み)	
	市主体	まちなみ再生協議会主体
平成28年4月～	修景補助制度周知、修景相談実施(随時)	広報スペースとして「堺町家案内所」を開設
平成28年5月		第5回総会開催
平成28年6月		協議会ニュースvol.9発行
平成28年7月	修景補助第2号、第4号物件修景工事完了	
平成28年8月	修景補助第5号物件修景工事完了	
平成28年9月		第1回町なみ再生連続講座開催
平成28年10月	修景補助第3号物件修景工事完了 ビュースポット発見まち歩き開催	第2回町なみ再生連続講座開催
		協議会ニュースvol.10発行 町家・町なみを知る展示開催(～11月)
平成28年11月	myビュースポット写真展in堺環濠都市開催	第1回、第2回「昔・町なみ 歩こう」イベント開催
		第3回「昔・町なみ 歩こう」イベント開催
平成28年12月		第3回町なみ再生連続講座開催
平成29年2月		協議会ニュースvol.11発行
平成29年3月		研修見学会開催(小浜市)
		協議会ニュースvol.12発行

■取組み状況写真、資料
○総会実施状況



○ビュースポット発見まち歩き、myビュースポット写真展in堺環濠都市開催の様子



○協議会ニュースの発行(vol.11)



○修景事業(施工前、施工後)
(施工前)



(施工後)



施工内容:(外壁)漆喰風塗装、(室外機等)目隠し格子設置 等

(施工前)




(施工後)



施工内容:(腰板、格子)焼杉板、格子新設(ベンガラ塗料)、(ゴミ箱)焼杉板内に収納

歴まち計画への記載事項	H28	進捗評価		進捗状況	
事業名	計画	■計画どおり進捗	■計画どおり進捗していない		
環-③ ザビエル公園 再整備事業	○Ⅱ期工事	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●第2期整備工事完了 ・植栽工 張芝3,068㎡、地被類2,484鉢 ・インターロッキング舗装 A=674㎡ ・擬石平板舗装 A=256㎡ ・屏風オブジェ 2基 ほか  	  
環-④ 宿院町公園 再整備事業	○再整備工事	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●再整備工事完了 ・再整備面積 A=2,438㎡ ・『白夜の兎群像』の軽微補修及び土間改修 ・『住吉祭・神輿渡御』案内看板設置 ・インターロッキング舗装 A=427㎡ ・高中低木植栽工(シダレザクラほか) 154本 ・地被類植栽工(ヤブランほか) 1,320鉢 ほか 	
環-⑤ 阪堺線停留場 美化化事業	○綾ノ町上り停留場ほか 小規模改修(平成32年度 まで)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●綾ノ町上り停留場の改修について協議を実施 ※平成29年度設計業務実施予定 	

歴まち計画への記載事項	H28	進捗評価		進捗状況	P7
事業名	計画	■計画どおり進捗	■計画どおり進捗していない		
環-⑥ 紀州街道沿道の 景観づくり (阪堺線沿道の植栽帯の改善)	○Ⅱ期工事	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●第2期整備工事完了(御陵前交差点～宿院交差点 延長約0.9km) ・割石縁石 329m ・ヒラドツツジ 約2900株 ほか 	

(4) その他の歴史的風致の維持向上に寄与する事項

基本方針④: 歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有

モス-⑥ 百舌鳥古墳群 に関する情報発信	○インターネットによる情報発信 ○パンフレットやポスターの作成等	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●本市ホームページを活用し、タイムリーな情報発信をおこなった。 ●各種団体、民間企業と連携したPRの実施 平成28年6月25日(日) 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の集い(堺市民の会と連携 於:堺商工会議所) 平成28年6月25日(日) 百舌鳥・古市古墳群PRイベント(近畿日本鉄道(株)と連携 於:近鉄大阪阿部野橋駅) 平成28年7月14日(木) 堺高島屋における百舌鳥・古市古墳群の世界遺産PR((株)高島屋と連携 於:堺高島屋) 平成28年7月25日(月) 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産国内推薦の結果を報告する会(堺市民の会と連携 於:堺市役所) 平成28年8月13日、14日(土、日) 百舌鳥・古墳群PRイベント((株)イトーヨーカ堂と連携 於:アリオ鳳) ●PRちらしやポスターを作成し、PR効果が見込める場所に配架・掲出を行った。また、堺市民の集いや、アリオ鳳でのPRイベント等で配布し幅広く情報発信を行った。     <p>堺市民の集い 大阪阿部野橋駅でのPR活動 堺高島屋でのPR活動 アリオ鳳でのPRイベント</p>																						
モス-⑦ 百舌鳥古墳群 周辺案内板の整備	○周遊路の設定 ○デザイン計画の作成(～H28)	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の周遊案内板等の整備時状況を整理し、整備方針の検討を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>サイン種別</th> <th>内容</th> <th>設置位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大拠点サイン</td> <td>市域・地区・周辺案内、資源解説を掲載する総合的な案内サイン</td> <td>地区へのゲートとなる鉄道駅近傍</td> </tr> <tr> <td>拠点サイン</td> <td>地区と周辺の案内サイン</td> <td>周遊路上の主要結節点</td> </tr> <tr> <td>周辺案内サイン</td> <td>設置位置周辺の案内サイン</td> <td>拠点サインの補完必要箇所</td> </tr> <tr> <td>誘導サイン</td> <td>施設・資源誘導サイン</td> <td>周遊路上主要結節箇所</td> </tr> <tr> <td>記名・解説サイン</td> <td>各施設・資源の名称、解説表記</td> <td>各施設</td> </tr> <tr> <td>ルートサイン</td> <td>周遊路上であることを路面等表示</td> <td>100～200m間隔での設置</td> </tr> </tbody> </table>	サイン種別	内容	設置位置	大拠点サイン	市域・地区・周辺案内、資源解説を掲載する総合的な案内サイン	地区へのゲートとなる鉄道駅近傍	拠点サイン	地区と周辺の案内サイン	周遊路上の主要結節点	周辺案内サイン	設置位置周辺の案内サイン	拠点サインの補完必要箇所	誘導サイン	施設・資源誘導サイン	周遊路上主要結節箇所	記名・解説サイン	各施設・資源の名称、解説表記	各施設	ルートサイン	周遊路上であることを路面等表示	100～200m間隔での設置	
サイン種別	内容	設置位置																								
大拠点サイン	市域・地区・周辺案内、資源解説を掲載する総合的な案内サイン	地区へのゲートとなる鉄道駅近傍																								
拠点サイン	地区と周辺の案内サイン	周遊路上の主要結節点																								
周辺案内サイン	設置位置周辺の案内サイン	拠点サインの補完必要箇所																								
誘導サイン	施設・資源誘導サイン	周遊路上主要結節箇所																								
記名・解説サイン	各施設・資源の名称、解説表記	各施設																								
ルートサイン	周遊路上であることを路面等表示	100～200m間隔での設置																								
モス-⑧ 百舌鳥古墳群 ガイダンス施設の整備	○基本、実施設計 ○展示設計	■	□	<ul style="list-style-type: none"> ●(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設建設工事基本設計業務が完了。実施設計に着手。(～平成29年12月) ●展示設計に着手。(～平成29年12月) ●堺市博物館内に設置の百舌鳥古墳群ガイダンスコーナーで、高精細な映像による来訪者向けガイダンスを実施。    <p>百舌鳥古墳群シアター(外観) 百舌鳥古墳群シアター(内部) 百舌鳥古墳群展示コーナー</p>																						

歴まち計画への記載事項		H28		進捗評価		進捗状況	P8
事業名		計画		■計画どおり進捗	■計画どおり進捗していない		
環-⑦	環濠都市区域内における案内板の改善	○継続的に観光客向けの案内板を改善	■	□	●周辺案内板6基をはじめ誘導サインなどの表示内容の見直しを行い、改修・修繕を実施した。 ＜実績(H28年12月末現在)＞平成28年度:19基		
全-⑥	史跡・重要文化財等公開事業	○春・秋における文化財特別公開の実施	■	□	●春季堺文化財特別公開 平成28年4月1日～3日 妙國寺、南宗寺、本成寺等 9か所 来場者数19,175人(関連施設含む) ●秋季堺文化財特別公開 平成28年11月3日～6日、11日～13日 妙國寺、南宗寺、長泉寺、鉄砲鍛冶屋敷等 13か所 来場者数45,097人(関連施設含む)	 	 
環-⑧	コミュニティサイクルポート整備事業		■	□	★平成26年度 事業完了		
環-⑨	自転車通行環境の整備	○錦南宗寺線、深井畑山宿院線	■	□	●錦南宗寺線における自転車レーンの整備に関する設計、工事契約等実施 ●深井畑山宿院線における自転車レーンの整備に関する設計、工事契約等実施	 	<p>錦南宗寺線現況</p> <p>深井畑山宿院線現況</p>
環-⑩	文化観光拠点整備事業	(その他関連取組みとして、継続)	■	□	★平成26年度 事業完了		
全-⑦	学校教育の場での茶の湯体験(堺・スタンダード事業)	○小学校および中学校での茶の湯体験の継続	■	□	●平成26年度は小学校90校、中学校32校で茶の湯体験を実施。 ●平成27年度は小学校93校、中学校26校で茶の湯体験を実施。 ●平成28年度は前年度並み。(集計は翌年度初に実施予定)		堺市立三原台中学校での茶の湯体験

歴まち計画への記載事項 項目	進捗評価		進捗状況
	■計画どおり進捗	■計画どおり進捗していない	
1 文化財調査、指定、保存管理（活用）計画の策定	■	□	<p>平成28年4月5日 大阪府指定文化財に 絵画「絵本墨画大寺縁起下絵 土佐光起筆」を指定。</p> <p>平成29年2月6日 堺市指定文化財に 高倉寺金堂他、放鳥銃定限記碑、孫太夫山古墳前方部及び周濠を指定。</p>   <p>堺市文化財保護審議会 高倉寺金堂</p>
2 文化財の修理事業、文化財の 周辺環境の整備事業	■	□	<p>「百舌鳥古墳群整備事業」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P2 モス①を参照) 「重要文化財高林家住宅保存修理事業」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P2 モス②を参照) 「歴史的建造物保存修理事業」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P2 環①を参照) 「視点場の整備に関する調査検討」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P4 モス④を参照) 「百舌鳥古墳群水質改善事業」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P4 モス⑤を参照) 「まちなみ再生事業」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P5 環②を参照) 「百舌鳥古墳群周辺案内板の整備」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P7 モス⑦を参照) 「百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P7 モス⑧を参照) 「環濠都市区域内における案内板の改善」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P8 環⑦を参照)</p>  <p>百舌鳥古墳群整備事業 寺山南山古墳調査の専門委員による現地指導</p>
3 文化財の防災	■	□	<p>文化財防火デーの実施(所轄消防署、関西電力、大阪ガス 文化財課 合同査察実施) 平成29年1月25日・26日 指定文化財寺社等 24箇所</p>  <p>平成28年度 文化財防火デーの様子 国宝 桜井神社拝殿</p>
4 埋蔵文化財の取り扱い	■	□	<p>重点区域内には堺環濠都市遺跡、土師遺跡などの埋蔵文化財包蔵地があり、開発に対しては、届出または通知に基づき適切に指導している。 平成28年度は、百舌鳥古墳群の中にある寺山南山古墳について、規模や形状の把握のために調査を実施した。調査では、墳丘裾や周濠、これまで未確認であった造り出し等を確認し、平面の形状を復元することができた。</p>  <p>寺山南山古墳の発掘調査</p>
5 文化財に関する普及・啓発の 取組、民間団体への助成・支援 や連携・協力した取組	■	□	<p>百舌鳥古墳群講演会の開催（平成29年2月5日 参加者数460人） 「市民と協働した古墳の保存管理に向けた取り組み」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P2 モス③を参照) 「堺市地域文化遺産活用活性化事業」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P3 全①を参照) 「ボランティアガイドの育成・支援」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P3 全②を参照) 「百舌鳥古墳群に関する情報発信」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P7 モス⑥を参照) 「史跡・重要文化財等公開事業」(再掲:進行管理総括表 資料2-2:P8 全⑥を参照)</p>   <p>百舌鳥古墳群講演会 史跡・重要文化財等公開事業 堺文化財特別公開パンフレット</p>

	■計画の進捗に影響なし □計画の進捗に影響あり		事業に関する報道等		
	No	報道等タイトル	掲載/報道日	掲載紙等	備考
環濠都市区域関連	1	サラメシ「第5シリーズ 第7回」	平成28年5月12日	NHK総合1・大阪	＜堺の包丁工房に屋がきた＞刃物の町・大阪 堺 伝統の包丁作り 堺の包丁工房のサラメシを伝える。ここでは手作りの包丁を作っていると伝えた。そこで実際に包丁を作っている様子が伝えられた。1人前になるまで10年になる世界だと伝えた。
	2	千利休の新記念館など堺を訪ねて	平成28年5月15日	産経新聞	NHK大河ドラマ「真田丸」に登場する茶人、千利休の出身地、堺市の歴史に触れる。
	3	さかい利晶の杜の魅力が切手に	平成28年5月28日	サンケイリビング新聞	堺の新たな文化観光拠点としてオープンした「さかい利晶の杜」。その1周年と来館者50万人達成を記念して、日本郵政のオリジナルフレーム切手が5月16日から販売される。
	4	日本の轍	平成28年6月14日	関西テレビ1	＜日本の轍＞竹内街道 伝統の堺打刃物 竹内街道にある仁徳天皇陵古墳。古墳時代築造のため鍬や鋤が必要となり全国から鍛冶職人が集められたという。彼らの鉄の技術は受け継がれ江戸時代この町は刃物の町として華開いた。
	5	堺の和包丁世界にPR	平成28年6月14日	日経	堺の和包丁の知名度を高めるべく、増産に向けて工房を新設した。
	6	真田丸(25)「別離」	平成28年6月26日	NHK総合1・大阪	＜真田丸紀行＞大阪府堺市 大阪府堺市の鉄砲鍛冶屋敷など大河ドラマ 真田丸のある建築物や場所を映像と共に紹介した。
	7	おとな旅あるき旅 美食と伝統の技 夏の堺をぶらり旅	平成28年7月16日	テレビ大阪1	堺が世界に誇る“堺遺産”を探し求める旅 伝統！包丁職人技&古墳&自転車博物館。
	8	神輿若返り大和川渡る 住吉祭	平成28年8月2日	読売	大神輿70年ぶりに修復。住吉大社から宿院頓宮へお渡り。
	9	一志相伝～受け継がれる職人の心～	平成28年8月4日	ABCテレビ1	＜一志相伝＞受け継がれる職人の心 大阪・堺市で包丁を作る鍛冶職人の田中さん親子がいる。息子の作業に対し、父は「どこを叩いたらどうなるか完全にわかったら思うような品物ができる。」と話した。
	10	「千利休」主人公に大河ドラマを 堺市長ら「実現する会」発足	平成28年8月8日	産経	茶道三千家の協力を受けNHKに要望へ。
	11	雨上がり食楽部【大阪でイチバン歴史の古いお店を徹底調査！戦国武将も愛した味？】	平成28年8月27日	関西テレビ1	＜関西イチ調査隊～大阪の老舗編～＞つば市製茶本舗 大阪の老舗店を調査する。包丁で有名な堺へとやって来た。「堺刀司」は1805年創業で飯屋だったら1位と話す。さらに調査を進めると「つば市製茶本舗」を発見した。
	12	ニュースほっと関西 都構想議論が再開へ 空き家の新防災対策	平成28年8月31日	NHK総合1・大阪	＜野々花の…ホットに好奇心＞茶人 千利休を探る 堺が生んだ茶の湯文化 堺が生んだ茶の湯文化の発祥人、千利休を探る特集。千利休は一期一会という言葉を残したことで有名。当時の堺は商人にとっての自由都市で、いまでも千利休にちなんだかき氷などが提供される。
	13	中世の濠の一部確認 堺環濠都市遺跡の発掘調査	平成28年9月6日	毎日	熊野小学校敷地内で中世に自治都市として栄えた堺を囲んでいた濠の一部が出土した。
	14	キャスト【フランスから大阪へ鍛冶職人修業に密着】	平成28年9月13日	ABCテレビ1	＜特集＞密着！職人目指す仏人男性 “刃物の街”堺で修業中 エリックさんは、堺市にある150年続く鍛冶“佐助”で、鍛冶職人として現在修行中だという。師匠は海外でも注目されている、鍛冶の第一人者で、すべて手づくりで行っているという。
	15	堺線香 被災地で香れ	平成28年9月30日	朝日	宮城県農業高校の生徒が集めた桜の花びらを堺工科高校の生徒が線香に練りこむ。
	16	刃物道場8人修了 堺5社で職人の道へ	平成28年10月1日	朝日	次世代を担う刃物職人を育てる「堺刃物職人養成道場」修了式が行われる。
	17	ニュース	平成28年10月15日	NHK総合1・大阪	＜関西地方のニュース＞利休ゆかりの堺で大規模な茶会 利休ゆかりの地である堺区 南宗寺 実相庵にて、大規模な茶会が開かれた。外国人や子供達なども集まりお茶を楽しんでいる。
	18	あさバラ！2時間SP	平成28年10月15日	読売テレビ1	進化する新世界をぶらウオーク 外国人に大人気 包丁専門店 新世界に人気のスポットとして包丁専門店に案内してもらった。カナダ人のビヨンさんが営んでいる TOWER KNIVES OSAKAは、堺の包丁など日本各地の厳選した包丁を販売し世界中からお客さんが集まっている。
	19	堺の歴史に思いはせ 「まちあるきツアー」153人楽しむ	平成28年11月7日	産経	堺市の歴史と文化の地を観光ボランティアとともにめぐるツアーを開催した。
	20	世界が驚いたニッポン！スゴ～イデスネ!!視察団 4時間スペシャル	平成28年12月17日	ABCテレビ1	＜外国人ジャーナリストが世界に伝えたい！日本のスゴイところベスト50＞ 和食を支える道具 日本のスゴイところベスト50第26位は「包丁」。大阪府堺市には研ぎ職人がおり、包丁の最終的な切れ味は研ぎで決まってくるという。
	21	関西のニュース・気象情報	平成28年12月18日	NHK総合1・大阪	＜関西のニュース＞線香のモザイク画 “世界記録”に 大阪堺市で工業高校の生徒が線香で巨大なモザイク画の制作し、世界最大の線香モザイク画としてギネス世界記録に認定された。図柄は百舌鳥・古市古墳群をイメージしたもので、使われた線香はおよそ3万7000本。
	22	ニュースほっと関西	平成28年12月21日	NHK総合1・大阪	＜ほっとライブ大阪＞欧米で人気沸騰 進化する堺打刃物 進化する堺打刃物と特集する。堺の業務用和包丁が9割を占めていて、和食がユネスコの世界無形文化遺産に登録されていて、その流れで海外からの注文が殺到している。
	23	おはよう関西 NYで人気！火花散る堺の打刃物を生中継ほか	平成28年12月22日	NHK総合1・大阪	＜中継＞海外から人気！職人技が光る和包丁 熱せられオレンジ色になった刃物が、ハンマーで打ち伸ばされている。120年続く堺市の包丁鍛冶。火を使うため、気温が低いこの冬の時期が最盛期となる。
百舌鳥古墳群周辺区域関連	24	陵墓調査自治体と協力へ 宮内庁が方針転換保全に助言を活用	平成28年4月12日	産経	宮内庁、陵墓の保全・修復工事のさいに地元自治体と発掘等を共同で実施いく方針を固める。
	25	ぼくらの水質浄化船改良 堺工科高生古墳の濠で実証実験	平成28年6月6日	読売	いたすけ古墳の濠で水質浄化船3か月間設置する。
	26	関西のニュース	平成28年6月25日	NHK総合1・大阪	＜関西地方のニュース＞百舌鳥・古市古墳群を世界遺産に 大阪の「百舌鳥・古市古墳群」を世界文化遺産に登録してもらうために、地元の住民ができることを学ぼうという集いが堺市北区で開かれた。
	27	世界遺産めざし学ぼう 堺市、古墳など学習ノート	平成28年8月10日	毎日	堺市教育委員会が作成し市立小中学生1万7千人に無料配布。希望者にも販売する。
	28	ふとん太鼓・だんじり「堺百町」16年版ガイドマップ	平成28年8月11日	朝日	A4版カラー8ページ冊子。市区役所や観光案内書等で無料配布する。
	29	堺市、学芸員の出前講座に力 古墳群世界遺産登録を目指して	平成28年8月21日	産経	関心が薄い市民への無料の出前講座を本格化した。
	30	首都圏での知名度アップも	平成28年8月25日	日経	東京でのイベントやシンポジウムを開いてPRを行った。
	31	堺市 世界遺産見据え展望台	平成28年8月25日	朝日	履中天皇陵古墳の美しい稜線一望 来春に建設する。
	32	ちちんぷいぷい【昔の人…大阪藤井寺&布団担ぐ秋祭】	平成28年9月8日	MBS毎日放送	＜昔の人は偉かった＞午後4時20分 大阪府堺市 大阪・堺市の百舌鳥八幡宮秋祭り。約100年前から続く祭りで、秋の豊作を祈願するため、神社周辺の9町が「ふとん太鼓」を奉納する。神輿には、彫物師の松田正幸によって源平合戦や川中島の戦いが彫られている。
	33	ふとん太鼓担いで月見祭 堺・百舌鳥八幡宮で始まる	平成28年9月18日	朝日	百舌鳥八幡宮へ地元9町のふとん太鼓が宮入。
	34	世界遺産へ 堺の古墳愛 高校生の視点 探訪DVD制作	平成28年10月16日	産経	三国丘高校定時制生徒が百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録を応援しようとDVDを制作。
	35	世界遺産をめざし、反正陵古墳を清掃	平成28年10月25日	朝日	地元住民グループ「けやき通りまちづくりの会」が清掃活動を実施。
	36	古墳巡り レンタル自転車GO	平成28年11月18日	朝日	百舌鳥と古市間を電動自転車で巡る「もずふるレンタサイクル」の貸し出しを開始。
	37	祭祀の場 造り出し出土 寺山南山古墳現地説明会	平成28年12月2日	朝日	史跡整備に伴う発掘調査で判明。現地説明会開催する。
	38	ヒルナンデス！	平成29年1月12日	読売テレビ1	＜福くんの家族と離れ1人旅＞堺→仁徳天皇陵は自転車移動 堺市周辺は古墳だらけ！？ 鈴木福と虻川美穂子は堺駅の観光案内所で仁徳天皇陵への行き方を聞き自転車を借りて移動する。
	39	新日本風土記 一堺一	平成29年2月24日	NHK BSプレミアム	古墳・中世・近現代の三つの時間を行き来しながら、何度も滅ぼされながら甦った奇跡の町＝堺を美しい映像と共に描く(『百舌鳥古墳群、環濠、茶の湯、刃物、町家、やっさいほっさい』など、歴史資源、伝統文化、伝統産業、伝統行事とこれらを支える人々の思いや活動を紹介)。

＜毎年度行う進捗評価の結果を踏まえ、計画に記載された「歴史的風致の維持向上に関する方針」の達成状況(アウトカム)や課題の改善状況を評価＞

歴まち計画への記載事項		●達成状況の評価【上段】 ●計画見直しの必要性【下段】	●対応する進捗評価項目とその推移【上段】 ●方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容【下段】
方針【上段】、課題【下段】			
1	<p>【方針】 (1)古墳時代をはじめ各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用</p> <p>古墳や町家等の歴史・文化資源について、保存・活用に取り組む。</p>	<p>【達成状況の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p>	<p>【対応する進捗評価項目とその推移】 ○百舌鳥古墳群整備事業 堺市百舌鳥古墳群保存整備委員会を5回に渡り開催し、「国指定史跡百舌鳥古墳群保存管理計画」を策定した。また、収塚古墳及び寺山南山古墳の形状確認のための発掘調査を実施し、「史跡百舌鳥古墳群整備基本計画」の策定に向けた検討を行った。なお、発掘調査では、市民向けの現地説明会を開催した。(参加人数 平成27年5月:550人 平成28年9月:450人 平成28年12月:500人) ○重要文化財高林家住宅保存修理事業 御廟山古墳に隣接する高林家住宅は江戸時代に建築された民家で、重要文化財指定されている。この高林家住宅の保存修理に向け、所有者との協議を進めている。 ○歴史的建造物保存修理事業 山口家住宅や清学院とともに、堺環濠都市を代表する歴史的建造物である「鉄砲鍛冶屋敷」の保存に向け、所有者と整備方針等について協議を進めてきた。このほか、所蔵する歴史資料約1万点のうち、鉄砲関係の歴史資料の調査等も行った。</p>
	<p>【課題】 堺市には高い価値を有する古墳や町家、寺社等の歴史的建造物等が数多く残されているものの、老朽化が進み、その維持管理や補修費用が大きな負担となるなどにより、現代風の建物への建替えや取り壊しなどが進みつつある。</p>	<p>【計画見直しの必要性】 <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要</p>	<p>【方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容】 ○計画的かつ着実に百舌鳥古墳群を残していくために、「国指定史跡百舌鳥古墳群保存管理計画」を策定し、現在、発掘調査を行いながら適切に保存・管理を進めている。また、発掘調査に合わせて市民向けの現地説明会を開催したことにより、保存・管理に必要となる市民理解が深まった。 ○重要文化財高林家住宅や鉄砲鍛冶屋敷の保存修理の方法について所有者と協議を行い、歴史的建造物の保存・活用に向けた取組みを着実に進めている。</p>
2	<p>【方針】 (2)「もののはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興</p> <p>伝統産業の振興・継承にあたっては、消費者ニーズや市場環境の変化に対応した商品開発や販路開拓、情報発信の強化を図る。 また地域の祭礼行事の保全・継承にあたっては、不足する祭礼行事の新たな担い手としての新規住民の参加、技術伝承のための記録作業などを進める。</p>	<p>【達成状況の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p>	<p>【対応する進捗評価項目とその推移】 ○市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み 百舌鳥古墳群に関するシンポジウムや講演会を開催したほか、「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会」(入会者数(平成29年2月末現在):11,695件(個人、団体))を設立した。また、市民ボランティアが中心となって実施する仁徳天皇陵古墳周辺の清掃活動や民間企業と連携したウォーキングイベントを開催した。 ○堺市地域文化遺産活用活性化事業 手織り緞通や線香等、堺の伝統的な工芸技術をはじめとした文化遺産を市民に普及し、理解を深めるため、町家歴史館において、ワークショップを実施した。また、地域の文化遺産継承に向け、上神谷のこおどり保存伝承事業等を実施したほか、神輿渡御祭の歴史的経緯や渡御際の様子について記録・調査を行った。 ○ボランティアガイドの育成支援 ボランティアガイド養成講座や他都市のボランティアガイドとの交流研修等を通じてガイドの知識や技能の向上等、育成のための支援を実施した。 ○堺市地場産業振興事業補助事業 刃物や線香など伝統産業を含む地場産業の振興を図るにあたり、中小企業者により組織された団体が行う①経営の近代化・合理化、販路開拓、情報収集に関する事業、②後継者の育成や技術・技法の記録等に関する事業について、経費の一部補助を実施した。 ○堺市伝統産業後継者育成事業補助事業 刃物や線香などの伝統技能の継承を図るにあたり、後継者を雇用した事業所に人件費の一部補助を実施した。(後継者育成に向けた支援件数:74件(92人) ※平成25年度～28年度累計) ○堺市ものづくりマイスター制度 伝統産業に関して卓越した技能を持つ者を市がマイスターとして認定し、実演・体験講座などの講師として派遣した。</p>
	<p>【課題】 生活スタイルや産業構造の変化を背景に地域に根付いていた伝統産業への関心が薄れつつあり、その継承・継続にも影響を及ぼしている。 また、茶の湯など、堺市に古くから伝わる伝統文化も学ぶ機会が限られるなど、近年の社会・経済情勢を受け、課題が生じ、さらに、伝統行事や祭礼の歴史的意義・大切さに対する認識の希薄化により、次世代の担い手が不足。</p>	<p>【計画見直しの必要性】 <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要</p>	<p>【方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容】 ○百舌鳥古墳群に関するシンポジウムなどのイベントの開催等を通じて、多くの方々に古墳の魅力や価値、重要性に関する意識啓発を実施したほか、世界文化遺産登録を応援する「堺市民の会」では着実に会員数が増加するなど、市民理解も深まってきている。 ○伝統産業については販路開拓や後継者育成等に向けて様々な形で支援を行い、刃物や線香を中心に報道で多く取り上げられている。さらにこのような取組みにより、伝統産業会館入館者数が増加するなど、歴史と伝統を反映した人々の活動支援の取組みの効果も表れている。</p>

歴まち計画への記載事項		●達成状況の評価【上段】 ●計画見直しの必要性【下段】	●対応する進捗評価項目とその推移【上段】 ●方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容【下段】
方針【上段】、課題【下段】			
3	<p>【方針】 (3)古墳や歴史的まちなみを活かした魅力ある景観の創出</p> <p>堺に暮らす人々及び堺を訪れる人々が歴史的風致を感じられるような魅力ある景観形成を進める。特に、古墳周辺においては環境整備とともに、これと調和し、また古墳への眺望に配慮した周辺市街地の景観の保全・創出を図る。 また、町家が多く残る地域においては、歴史的なまちなみを形成するとともに、阪堺線が通る紀州街道沿道について停留場の美装化、紀州街道の沿道の景観づくりにより市街地環境の整備を図る。</p> <p>【課題】 古墳及び周囲には古墳と一体となった緑地があるものの、周辺の建物等により古墳への眺望が阻害され、一望できない現状となっており、周遊に対する取組みが不足している。 また、歴史的建造物等の周辺市街地では、街道沿道などでの空地等の増加、建て替わりなどにより歴史的な景観は失われつつあるとともに、中心を走る阪堺線停留場の老朽化の進行や沿道の植栽帯が充実していない面も、街道の風情が消失しつつある要因の一つとなっている。</p>	<p>【達成状況の評価】 <input type="checkbox"/>想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/>今後発現が予想される <input type="checkbox"/>要対策検討 <input type="checkbox"/>現段階では判断できない</p>	<p>【対応する進捗評価項目とその推移】 ○都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携 百舌鳥古墳群及び周辺区域において建築物の高さや形態意匠、屋外広告物の大きさや高さ等の制限内容を見直しを行い、古墳のあるまちとして相応しい景観づくりに向けた取組みを行った。(屋外広告物の新たな制限に関する周知啓発件数:約2,700件、景観地区における建築物の認定申請件数:63件(平成28年1月～平成29年2月末現在)) ○視点場の整備に関する調査検討 百舌鳥古墳群のうち、大型古墳6基を結ぶ周遊ルート上に視点場として相応しい箇所の検討を実施し、履中天皇陵古墳北側に視点場整備箇所を決定した。当該地の用地を取得し、平成27年度に設計完了、平成28年度中に竣工する予定である。 ○百舌鳥古墳群水質改善事業 各古墳での水質改善に向けた調査検討を行ったほか、一定の水質基準を定めて、百舌鳥古墳群(仁徳天皇陵古墳)にてシミュレーションを実施した。この結果から水質改善の方向性を整理した。 ○まちなみ再生事業 堺環濠都市北部地区において、街なみ環境整備事業及びまちなみ修景補助制度を始動させ、地元住民で構成する「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」が発足、当協議会との連携のもと、地域住民に対して歴史的なまちなみの再生や修景補助制度について勉強会開催・協議会ニュース発行等を通じて周知が図られるとともに、町家の修景工事に対する補助を行った。(修景工事件数 平成27年度:1件、平成28年度:4件) ○ザピエル公園再整備事業 大型舟形遊具の整備や中世における海岸線位置を園路で再現するなど、歴史・文化を感じながら市民や来訪者が憩え、周辺のまちなみと調和した地域の拠点公園となるよう再整備を行った。 ○宿院町公園再整備事業 園内の樹木等を整理するなど、良好な景観形成を図るとともに、市民や来訪者が憩える公園となるよう再整備を行った。 ○阪堺線停留場美装化事業 宿院停留場(上り・下り停留場)について、上屋、ホームの改修等を実施した。 ○紀州街道沿道の景観づくり(阪堺線沿線の植栽帯の改善) 紀州街道を走る阪堺線沿いの既存の植栽帯について、歴史・文化を感じられるような景観の創出に向けて、改善工事を実施した。</p>
		<p>【計画見直しの必要性】 <input checked="" type="checkbox"/>計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/>計画の見直しが必要</p>	<p>【方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容】 ○百舌鳥古墳群及び周辺区域については、古墳への眺望に配慮した景観形成に向けた新たな制限の周知はもとより、景観地区での建築物の認定申請に係る協議を重ねてきたことにより、事業者・設計者の景観形成に係る意識が高まってきている。このほか、視点場の整備に関する調査検討に加え、整備も実施し、来訪者が古墳あるいは古墳の持つスケールの大きさや存在感を体感できる空間を創出するなど、周遊に関する取組みを行った。 ○堺環濠都市区域については、紀州街道を通る阪堺線の停留場や植栽帯、街道に隣接する公園を整備するとともに、特に堺環濠都市北部地区では、堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会が中心となった歴史的なまちなみ再生に関する意識啓発等の取組みや町家の修景が進んでいる。これらの取組みにより、神輿渡御祭の舞台である紀州街道を中心に景観形成が図られつつある。</p>
4	<p>【方針】 (4)歴史の重層性に育まれた堺の都市魅力の発信と共有</p> <p>市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。 堺市が受け継いできた伝統産業や茶の湯等の地域固有の歴史・文化資源について、数多くの来訪者が触れ、感じ、共感できるよう、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。</p> <p>【課題】 茶の湯をはじめとする伝統文化など、堺固有の歴史的資源についてその素晴らしさを市内外に十分発信できていないことや、これらを巡る周遊ルートや案内表示などのインフラ整備が不十分で、「おもてなしの準備」が不足している。</p>	<p>【達成状況の評価】 <input checked="" type="checkbox"/>想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/>今後発現が予想される <input type="checkbox"/>要対策検討 <input type="checkbox"/>現段階では判断できない</p>	<p>【対応する進捗評価項目とその推移】 ○百舌鳥古墳群に関する情報発信 百舌鳥古墳群の価値や魅力について、堺市HPやパンフレット・ポスターのほか、プロモーションムービーの上映、シンポジウムや講演会等の開催を通じて情報発信を行った。 ○百舌鳥古墳群周辺案内板の整備 来訪者の利用が見込まれる鉄道駅や周遊ルートで市内外からの来訪者にとって分かりやすい周遊案内板の整備に向け、整備方針の検討を行った。 ○百舌鳥古墳群ガイド施設整備 (仮称)百舌鳥古墳群ガイド施設建設工事基本設計を完了し、実施設計等に着手した。また、堺市博物館内の百舌鳥古墳群ガイドスコナーで高精細な映像による来訪者向けガイダンスを開始した。 ○環濠都市区域内における案内板の改善 既存の施設案内板について、見やすさや分かりやすさなどに配慮した案内板とするため、表示内容の見直しや多言語化など改修・修繕を実施した。 ○自転車通行環境の整備 市内外からの来訪者について歩行者・自転車利用者の安全を確保するため、自転車利用促進や回遊性向上に資する自転車道や自転車レーンを整備した。 ○文化観光拠点整備事業、コミュニティサイクルポート整備事業 千利休や与謝野晶子をテーマとした展示室、観光案内施設、茶の湯体験施設などを備えた文化観光施設である「さかい利品の杜」を整備し、多くの来館者を迎える中、大人だけではなく若年層の来訪者も増加している。 また当施設内にコミュニティサイクルポートについても整備し供用を開始した。 ○史跡・重要文化財等公開事業 毎年春季、秋季に寺社や歴史的建造物等、非公開の史跡や重要文化財の公開を実施し、広く市民に対して文化財の普及啓発を実施した。 ○学校教育の場での茶の湯体験 堺に育つ子どもたちが伝統文化を知るとともに茶道において大切にされる「もてなしの心」等を学ぶ場として、小中学校において「茶の湯」体験を実施した。</p>
		<p>【計画見直しの必要性】 <input checked="" type="checkbox"/>計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/>計画の見直しが必要</p>	<p>【方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容】 ○様々な媒体や機会を通じて情報発信をおこない、堺市民だけでなく、多くの方々に堺固有の歴史文化である百舌鳥古墳群を知っていただくことができた。特に暫定施設として整備した百舌鳥古墳群シアターでは、高精細のCG(コンピュータ・グラフィックス)を使ったVR(バーチャルリアリティ)により、迫力ある映像で、世界最大級の墳墓・仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群の雄大さを体感できるようになり、その魅力や価値をも体感できると評価を得ている。 ○環濠都市区域においては、文化観光拠点「さかい利品の杜」が整備され、市内外を問わず多くの人々が堺の歴史文化である茶の湯を学び、体験できるようになり、市内の小中学校からの利用も増え、次代を担う子どもたちにとっても理解や関心を深める、ひとつのきっかけとなっている。 ○コミュニティサイクルポートの整備や自転車通行環境整備を進めたことにより、市内外からの来訪者が気軽に回遊できるようになっているほか、春・秋の文化財特別公開を継続的に実施することにより、堺の歴史文化に関心を持つ取組みを進めている。</p>

＜適切なプロセスを経て事業が実施されたか、計画の趣旨・歴史性・景観等の観点から適切に実施されたかなどについて評価＞

【代表的な取組み①】:まちなみ再生事業

取組み概要

自己評価【上段】
外部評価【中絶】
今後の対応方針【下段】

(取組み概要)

景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域のうち、歴史的建造物が多く残る堺環濠都市北部地区において、堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会と連携・協働のもと、歴史的なまちなみの再生に向けて以下の取組みを実施した。

- まちなみの再生に向けた住民の意識醸成
- まちなみ修景補助制度の活用による町家の修景促進

(取組み経緯)

	歴史的なまちなみ再生に向けたこれまでの取組み(公民協働の取組み)	
	市主体	まちなみ再生協議会主体
平成25年度	第2～4回歴史的なまちなみ勉強会開催 (第1回は平成24年度に開催)	協議会に向けた準備会活動開始
平成26年度	第5回歴史的なまちなみ勉強会開催	堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会設立(第1回総会) 協議会ニュースvol.1～4発行 まちなみガイドライン作成分科会開催(3回) ワークショップ開催(3回) 町家・まちなみ写真展実施 町なみ意向調査(アンケート)実施 第2回総会開催 まちなみガイドライン作成
平成27年度	修景補助制度創設・活用開始 費用対効果等に関するアンケート実施	第3回総会開催 協議会ニュースvol.5～8発行 まち歩きマップ作成ワークショップ開催(3回) 町家・まちなみ写真展実施 第4回総会開催 まち歩きマップ発行
平成28年度	修景補助第2～5号物件修景工事完了 ビュースポット発見まち歩き開催 myビュースポット写真展in堺環濠都市開催	広報スペースとして「堺町家案内所」を開設 第5回総会開催 協議会ニュースvol.9～12発行 町なみ再生連続講座開催(3回) 町家・町なみを知る展示開催 第1～3回「昔・町なみ 歩こう」イベント開催(3回) 研修見学会開催(小浜市)

- 初動(町なみ再生協議会の設立:平成25年度～平成26年度)
 - 歴史的なまちなみの再生について地域住民とともに考えるため、平成25年3月より平成26年5月までに「歴史的なまちなみ勉強会」を継続的に開催(計5回)。
 - 地域住民が中心となった「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」が設立(平成26年5月)。
- 計画検討(ルールづくり)
 - 町家修景のルールづくり(ガイドライン)に向け、分科会・ワークショップを実施(計6回)。
 - 協議会ニュースの発行(vol.1～4)やまちなみ写真展の実施などを通じて住民の意識啓発を実施。
 - 『まちなみガイドライン』を作成。
 - 『まち歩きマップ』発行。
- 事業推進(補助制度の創設・活用)
 - 修景補助制度の創設・活用。
 - 協議会ニュースの発行(vol.5～12)やワークショップ、各種イベントの開催などを通じて、継続的に住民の意識啓発を実施。



歴史的なまちなみ勉強会



分科会の様子



ワークショップの様子

(取組み内容)

- まちなみの再生に向けた住民の意識醸成



堺町家や堺環濠都市北部地区のまちなみの特徴を整理・発信(まちなみガイドライン)



町家の魅力を紹介するほか、勉強会・ワークショップ、各種イベントの開催、修景補助制度の案内などを定期的に発信(協議会ニュース)



地域の魅力を紹介(昔・町なみ歩こうマップ)



地域の魅力発見(まち歩きイベント)



魅力紹介(写真展)



総会の実施



講演会

- まちなみ修景補助制度の活用による町家の修景促進
助成件数:(平成27年度)1件、(平成28年度)4件 計5件
＜事例＞



- ・看板除却
- ・屋根・庇補修
- ・虫小窓復元
- ・漆喰塗り
- など



- ・焼杉板塗り替え
- ・漆喰風塗装
- ・室外機目隠し格子設置
- ・玄関引戸取替え
- など



- ・焼杉板張り
- ・紅殻塗装
- ・格子戸・面格子設置
- など

【自己評価】

平成25年度より勉強会やワークショップ等を重ね、地域住民による『堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会』が設立。以降、協議会と連携・協力しながら、町家やまちなみの特徴を整理し、今後のまちなみ再生に向けたルールとなる『まちなみガイドライン』の作成、さらには、『協議会ニュース』などを通じて、着実に地域住民への理解が深まり、多くの方々に周知を図ることができた。このことから、まちなみ再生の取組みに関心を持ち、『まち歩き』や『講演会』などに継続的に参加する住民も増えつつある。

また、『まちなみ修景補助制度』の創設・活用により、看板建築が本来の町家の姿を取り戻すなど、目に見える形で町家が再生したことにより、地域住民の意識が醸成され、問い合わせも増えている。

これらの取組みにより、町家などの歴史的建造物の保全が図られるとともに、神輿渡御祭の折に大行列が通る紀州街道の沿道などを中心とした景観形成に向け、着実に事業を推進している。

【外部評価】

※外部評価者:大阪大学大学院 助教 松本邦彦

毎年度修景事業が実施され、総実施件数が着実に増加しており、単体の建造物保存にとどまらず、重点区域の歴史的環境の面的保全にも寄与するものとなっていることが評価できる。

さらに実施にあたっては地域にお住まいの方や所有者の方との丁寧な協議、勉強会などを実施していることも評価できる。今後は修景および面的な景観形成の実績、また歴史的風致の観点からはこれらの歴史的建造物と人々との活動の関係の地域内外への発信も期待したい。

【今後の対応方針】

今後も町なみ再生協議会と連携・協力し、面的な景観形成も意識しながら、地域の方々への啓発を継続的に実施するとともに、町家修景の促進を図る。さらに、これらの取組みについて、地域内外の理解が深まるよう、情報発信に努める。

【代表的な取組み②】：文化観光拠点整備事業

取組み概要

自己評価【上段】
外部評価【中絶】
今後の対応方針【下段】

（事業概要）

旧市街地の中心に位置する旧市立堺病院跡地において、堺の特色ある文化を振興するため、千利休などをテーマとする文化施設、及び堺観光の玄関口としての観光案内施設等を整備した。また、千利休展示室の整備に併せて、千利休が大成した茶の湯を実際に体験できる茶席空間を整備し、茶の湯に気軽に、また本格的に触れることができる“おもてなし”の場を創出した。

●茶の湯に関する展示等整備内容

- ・「利休と堺」・「茶の湯」・「利休の生涯」の3コーナーに分けて、千利休と茶の湯を知ることができる展示室を設置した。
- ・大型タッチパネルを活用した「デジタル住吉祭礼図屏風」により、中世以降の堺のまちの国際都市としての繁栄を紹介する。
- ・利休が若き日を過ごした堺今市屋敷に武野紹鷗の茶室を写し建てたという茶室と、京の聚楽屋敷の茶室を想定して「床(床の間)」を中心に再現。その設えの違いや、利休の独創性による茶の湯の変革、わび茶を大成する前後の茶の湯の変遷を知ることができる。
- ・千利休屋敷跡に面した茶の湯体験施設では、立礼茶席(南海庵)や本格的な茶室(西江軒、風露軒、得知軒、無一庵)を備え、茶の湯の世界を気軽に楽しめるほか、立礼茶席では、表千家・裏千家・武者小路千家のお点前により、椅子席でお抹茶と堺の和菓子(生菓子)を味わえる。
- ・特に茶室では、茶道三千家の指導のもと、にじり・正座・床の観賞・お菓子やお茶のいただき方などの茶の湯の作法を体験するだけでなく、実際にお客様自身がお茶を点てることもできる体験施設となっている。
- ・千利休作の茶室で唯一現存する国宝「待庵」の創建当初の姿を復元した「さかい待庵」については、文献から得られた研究成果に基づき、現代の職人たちが堺の地に蘇らせた「さかい待庵」の内部を、茶室内に入って空間を体感できる。

（事業経過）

- ・整備事業実施、「さかい利晶の杜」施設愛称決定。
- ・整備事業実施に合わせて、周辺道路の無電柱化工事や道路整備工事を実施。来訪者サービス施設を誘致。
- ・平成27年3月20日「さかい利晶の杜」供用開始。

●さかい利晶の杜管理運営事業

（取組み概要）

- ・指定管理者制度により、平成27年3月20日に供用開始した文化観光拠点「さかい利晶の杜」の管理運営を実施。
- ・多くの来訪者に対して、堺が生んだ茶の湯の大成者「千利休」と、日本近代文学を切り拓いた歌人「与謝野晶子」の生涯や人物像などを通じて、堺の歴史文化の魅力を発信する。

（来館者数状況）

- ・平成27年5月 来館者数数10万人達成
- ・平成27年7月 計画目標値であった年間延来館者数20万人を達成
- ・平成28年1月 来館者数40万人達成
- ・平成28年11月 来館者数70万人達成



デジタル住吉祭礼図屏風



さかい待庵(体験施設)



さかい利晶の杜(鳥瞰)



さかい利晶の杜(外観)



茶室(体験施設)



茶の湯体験学習
(学校団体向けの茶室お点前体験)

【自己評価】

利晶の杜の整備により、本市の文化観光拠点として、市内外を問わず多くの人々が来訪し、堺市の歴史・文化資源のPRに寄与した。
また、茶の湯等といった地域固有の歴史・文化資源について、大人だけではなく若年層の来訪者も触れて、感じて共感してもらえる機会を創出し広く波及することで、更なる本市の歴史文化の魅力発信につながっている。

【外部評価】

※外部評価者：大阪大学大学院 助教 松本邦彦

これまで「茶の湯にみる歴史的風致」に関連する歴史的資源や伝統的活動に関する情報を集約して展示する場所が無く、市内外に向けてその価値や魅力の発信が十分にできていなかったが、整備によりそれらの課題が解決されたと言える。
重点区域「環濠都市区域」の中心に位置する立地を踏まえると、区域内に点在する茶の湯以外の歴史的風致に関連する資産の紹介や、マップや冊子等によるアクセス方法やモデルルートの提示なども検討されたい。

【今後の対応方針】

利晶の杜の整備により、本市の文化観光拠点として、市内外を問わず多くの人々が来訪する場となっており、それらの人々へ、歴史的風致の紹介とともに、アクセス方法等を記すリーフレット等の作成を行うことで、さらなる本市の歴史文化の魅力発信に努める。

＜適切なプロセスを経て事業が実施されたか、計画の趣旨・歴史性・景観等の観点から適切に実施されたかなどについて評価＞

【代表的な取組み③】：ザビエル公園整備事業、阪堺線停留場美装化事業、紀州街道沿道の景観づくり(阪堺線沿道の植栽帯の改善)

自己評価【上段】
外部評価【中断】
今後の対応方針【下段】

取組み概要

(取組み概要)

●ザビエル公園整備事業

昭和24年に開設されたザビエル公園はフランシスコ・ザビエルとゆかりのある公園であり、紀州街道の沿道に位置している。歴史・文化を感じながら市民や来訪者が憩え、周辺のまちなみと調和した地域の拠点公園としての整備を行った。

【再整備にあたってのおもな基本方針と取組み】

- 公園内に埋もれた中世の歴史環境を顕在化させ、周辺の歴史文化資源と一体となって、観光振興等に資する環境づくりを実施した。
 - ・中世の海岸線を階段護岸等により表現し、旧の海側に舟形遊具を配置
 - ・旧紀州街道を表現するとともに、住吉祭礼図屏風のオブジェを設置
- 堺環濠都市区域内の歴史文化資源を繋ぐ観光ネットワークの構築に向け、まち歩きのリート・休憩等の場となる環境整備の実施した。
 - ・エントランス部を改修し、スポット広場を設置。また、テーブルベンチ等により休憩・休息環境を提供
- 大道筋の緑化と併せ、大道筋側の花修景や公園内への花木を導入し、おもてなしの環境づくりを実施した。
 - ・花修景や四季が感じられる環境づくり



園路(海岸線位置再現)



海に開かれた中世堺 説明板



住吉祭礼図屏風オブジェ



大型舟形遊具

●阪堺線停留場美装化事業

紀州街道の中心を走る阪堺線の停留場について、老朽化等に伴い、美装化を実施した。当計画で紹介している大浜潮湯のデザインを取り入れている。上下線の停留場 2箇所



停留場美装化(宿院停留場)

●紀州街道沿道の景観づくり(阪堺線沿道の植栽帯の改善)

紀州街道のうち広幅員となっている大道筋区間(約2.5km)において、阪堺線軌道と車道部との間の植栽帯の改修工事を実施した。平面花壇の配置、ヒラドツツジ等の植栽により、紀州街道沿道の景観形成を図った。



植栽帯の改善

【自己評価】

神輿渡御祭の舞台のひとつである紀州街道沿道に位置し、ザビエル公園の緑化の改善や、新たにデザイン性に配慮した阪堺線宿院停留場の整備、紀州街道沿道の植栽帯の改善により沿道の景観形成が着実に図られた。
そのほか、ザビエル公園においては神輿渡御祭への関心を高めるために住吉祭礼図屏風のオブジェを設置した。さらには発掘調査で確認した中世の海岸線を園内通路で表現した。
宿院停留場においては、歴まち計画においても紹介している大浜潮湯のデザインを取り入れるなど、それぞれの事業において工夫を凝らしながら進めてきた。

【外部評価】

※外部評価者：大阪大学大学院 助教 松本邦彦

各事業は重点区域の特徴を現すシンボリック要素を対象とし、景観形成および歴史的風致に関する情報発信に寄与するものとして高く評価できる。さらに紀州街道は重点区域「環濠都市区域」の背骨となる重要な軸線であることから、沿道におけるこれらの一連の整備は、区域全体への波及も期待できる。

【今後の対応方針】

これらの取組みにより、紀州街道沿道における市街地環境の整備も進むなか、今後はこれら施設の適切な維持管理に努めるとともに、歴史文化資源である町家歴史館山口家住宅などの既存ストックや、コミュニティサイクルの活用など、他の事業とも連携し、区域全体への波及効果を図る。

＜適切なプロセスを経て事業が実施されたか、計画の趣旨・歴史性・景観等の観点から適切に実施されたかなどについて評価＞

【代表的な取組み④】事業名：百舌鳥古墳群整備事業

取組み概要

（取組み概要）

●百舌鳥古墳群整備事業

百舌鳥古墳群の整備基本計画及び保存管理計画を策定し、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を行う。

堺市百舌鳥古墳群整備委員会を開催し、「百舌鳥古墳群保存管理計画」を策定した。管理計画に基づき、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を進めた。

平成25年度：ニサンザイ古墳の発掘調査を行い、百舌鳥古墳群の実態解明に努めた。調査成果は講演会や冊子などに反映させ、市民の意識醸成に努めた。

平成26年度：「百舌鳥古墳群保存管理計画」の策定

平成27年度：収塚古墳前方部及び周濠の発掘調査を行い、その調査成果に基づき周辺の公園整備を行った。

平成28年度：寺山南山古墳の整備に向けた発掘調査を行い今後の復元整備に向けての検討に着手した。

御廟表塚古墳の公有地化を実施し、今後の整備に向けての検討に着手した。



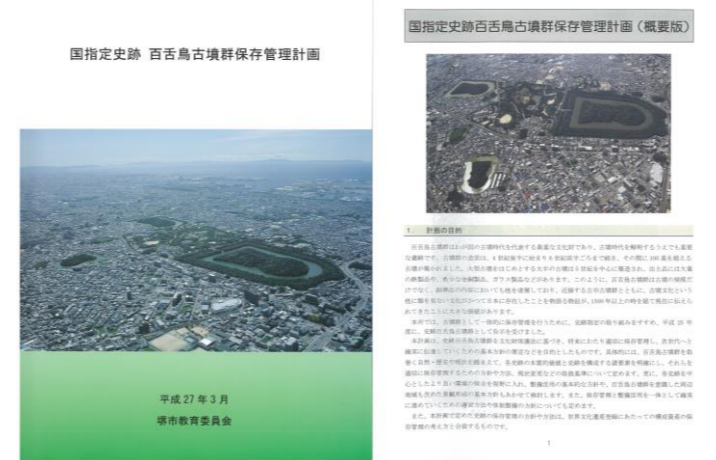
収塚古墳周辺公園整備



寺山南山古墳現地説明会



堺市百舌鳥古墳群保存整備委員会
（平成28年11月28日）



国史跡百舌鳥古墳群保存管理計画および概要版

自己評価【上段】
外部評価【中断】
今後の対応方針【下段】

【自己評価】

百舌鳥古墳群整備事業においては「保存管理計画」を策定した上で、古墳の発掘調査等を実施し、整備及び修景等を進めた。

収塚古墳は、発掘調査により古墳の平面形を確認し、その成果に基づき前方部や周濠を明示した公園整備を実施し、古墳周辺の環境改善を図った。今後も寺山南山古墳等において、調査成果に基づいた整備を推進していく予定である。

これらの取組みにより、百舌鳥古墳群において古墳整備や周辺の修景を進め、周遊のための良好な環境を育むとともに、貴重な歴史文化資源に対する市民等の意識醸成を図るなど、百舌鳥古墳群の周遊にみる歴史的風致の維持・向上に資する取組みを進めている。

【外部評価】

※外部評価者：大阪大学大学院 助教 松本邦彦

整備基本計画および保存管理計画を定め、古墳の保存活用については歴史的風致の維持向上につがる体制を構築していること、また着実に発掘調査や整備を進めていることは評価できる。情報発信の点でも各種取組みが実施され評価されるものではあるが、古墳そのものの価値だけではなく、歴史的風致の観点から古墳群の周遊などの人々の活動との関わりを発信することも今後検討されたい。

【今後の対応方針】

百舌鳥古墳群の調査研究を継続し、それらの成果を踏まえた整備・復元等を行う。併せて古墳に馴染みが少ない方でも来訪しやすい周遊方法等を検討し、古墳群の新たな魅力や価値を体感できるように提案していく。